

2022年度（2023年3月期）
決算説明資料

2023年5月11日



住友大阪セメント株式会社

1. 2022年決算・2023年度見通し

- (1) 国内セメント需要・当社販売数量
- (2) 2022年度 決算概要
- (3) 2023年度 決算見通し

2. 補足資料

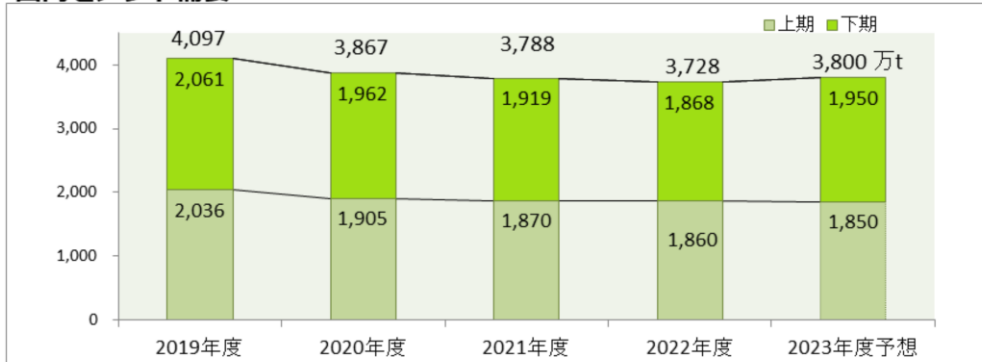
1. 2022年決算・2023年度見通し

- (1) 国内セメント需要・当社販売数量
- (2) 2022年度 決算概要
- (3) 2023年度 決算見通し

2. 補足資料

(1) 国内セメント需要・当社販売数量

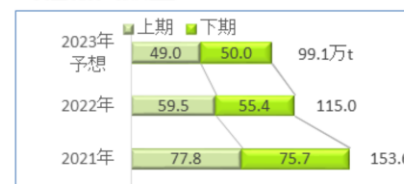
国内セメント需要



当社国内販売数量



当社輸出数量



国内セメント需要、当社のセメント販売状況についてです。

2022年度の国内セメント需要は、都市部の再開発工事等により民需は増加したものの、公共事業関係費予算の減額や人手不足等の影響により官公需は減少したことから、前期を1.6%下回る3,728万tとなりました。

2023年度は3,800万tと想定いたしました。

当社の国内販売数量は2022年度815万tと対前年2.4%減となりました。

2023年度は827万tを見込んでいます。

(2) 2022年度 決算概要

単位：億円

単位：億円

	2022年度	2021年度	増減	
① 売上高 ・セメント関連、高機能品 ともに増収	2,047	1,842	205	
② 営業利益 ・石炭・石油価格上昇影響により セメント事業が大幅減益	▲85.6 (▲195.4)	68.8 (▲23.8)	▲154.3 (▲171.6)	
③ 営業外損益 ・受取配当金減少、為替差損等 により減益	7.1	29.6	▲22.5	
	経常利益	▲78.5	98.3	▲176.8
	特別損益	47.4	21.8	25.6
④ 特別損益 ・政策保有株式等の資産売却 により増益	▲57.2	96.7	▲153.9	
	1株当たり配当	120円	120円	-

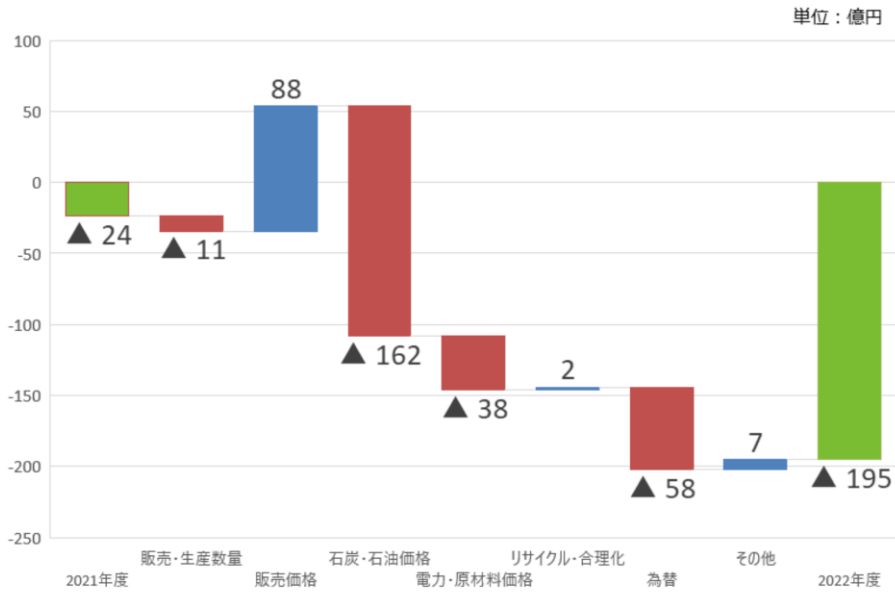
2022年度の決算は、売上高はセメント関連事業、高機能品事業ともに増収となりました。

損益は、セメント事業において値上げに取り組んだものの、石炭・石油価格の高騰や為替の円安による市況等の影響が上回り対前年171億6千万円悪化したことで、営業損益は85億6千万円の赤字となり対前年154億3千万円の大幅な減益となりました。

営業外損益は、受取配当金の減少、為替差損等で23億悪化。特別損益は、政策保有株式の売却を進めたこと等により26億円好転。当期純損益は、繰延税金資産の取崩しがあったことなどから57億2千万円の赤字となりました。

期末配当は1株当たり60円で株主総会に提案させていただく予定であり、中間配当60円と合わせて年間120円となります。

(2) 2022年度 セメント営業利益増減内訳



2022年度のセメント営業損益は195億円の赤字となり、対前年172億円の悪化となりました。

販売価格の値上げにより88億円の改善があったものの、

石炭・石油価格で162億円悪化、

電力・原材料価格で38億円悪化、

為替の影響で58億円悪化したことが主な要因となります。

(2) 2022年度 セグメント別売上/損益

売上高

	22年度	21年度	増減
セメント	1,403	1,266	137
鉱産品	134	123	11
建材	221	207	14
セメント関連計	1,758	1,597	162
光電子	24	38	▲14
新材料	217	146	71
高機能品計	241	184	57
その他	48	62	▲14
合計	2,047	1,842	205

営業利益

単位：億円

	22年度	21年度	増減
	▲195.4	▲23.8	▲171.6
	24.5	22.6	1.8
	15.1	18.2	▲3.1
	▲155.8	17.0	▲172.8
	▲1.3	1.0	▲2.3
	53.8	33.0	20.8
	52.5	34.0	18.5
	18.7	17.0	1.7
	▲85.6	68.8	▲154.3

セメント以外のセメント関連事業では、
鉱産品は、海外および国内鉄鋼向け石灰石が増収となったこと
などから増収増益。

建材は、地盤改良工事の増加などから増収となったものの
コンクリート二次製品の販売数量減少および原材料コストの増加
などにより減益となりました。

高機能品事業においては、
光電子は、LN変調器の販売数量が減少したことなどから減収となり、
損益は営業損失となりました。

新材料は、半導体製造装置部品であるESC（静電チャック）の
販売数量が増加したことなどから増収増益となりました。

(3) 2023年度 決算見通し

① 売上高

- ・セメント販売価格値上げによる増収

単位：億円

② 営業利益

- ・セメント販売価格値上げ効果による損益改善から黒字へ

③ 営業外損益

- ・金融収支、為替差損益等の影響

④ 特別損益

- ・政策保有株式売却影響

⑤ 配当

- ・据え置き

	2023年度	2022年度	増減
売上高	2,300	2,047	253
営業利益 (うちセメント事業)	61.0 (▲46.9)	▲85.6 (▲195.4)	146.6 (148.5)
営業外損益	4.0	7.1	▲3.1
経常利益	65.0	▲78.5	143.5
特別損益	▲1.0	47.4	▲48.4
当期純利益	60.0	▲57.2	117.2
1株当たり配当	120円	120円	-

2023年度決算見通しは、
売上高は、セメント販売価格の値上げによる増収、
新材料事業の増販による売上増を見込んでいます。

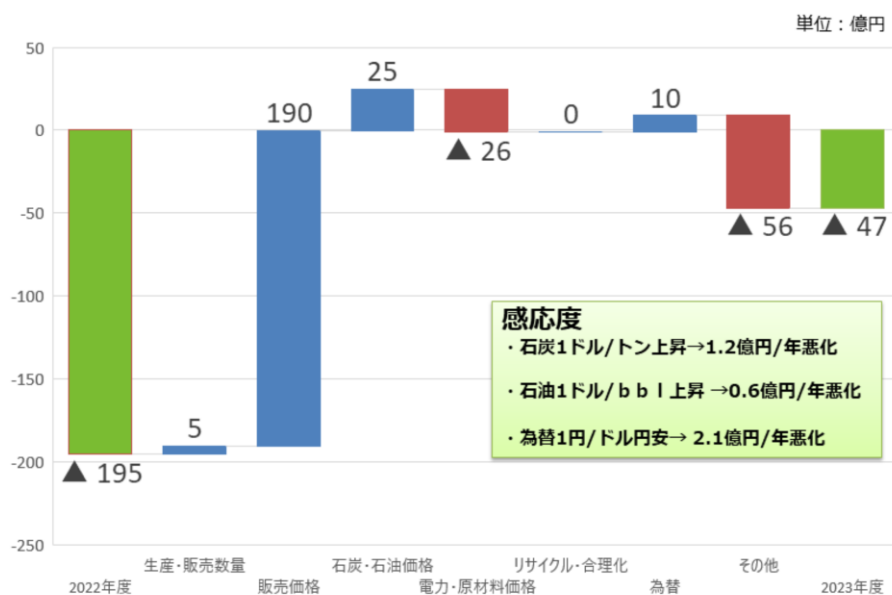
営業損益は、
セメント値上げ効果などにより対前年146億6千万円改善し、
61億円の黒字化を見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純利益は、
60億円と対前年117億2千万円の改善予想となります。

配当については、
2023-25年度中期経営計画の株主還元方針に基づき、
安定配当継続をベースに総還元性向を3カ年平均で50%以上を
目指すことを踏まえ、1株当たり年間配当は120円を据え置く予定
としております。

(3) 2023年度 セメント営業利益増減内訳

住友大阪セメント



2023年度のセメント営業損益は、値上げ効果により190億円の改善を見込んでおりますが、電力・原材料価格、固定費などの悪化要因で41億円あり、前年195億の赤字からは149億円改善するものの▲47億円の赤字を見込んでおります。

(3) 2023年度 セグメント別売上/損益見通し

売上高

	2023 年間予想	2022 年間実績	増減
セメント	1,609	1,403	205
鉱産品	148	134	14
建材	234	221	13
セメント関連計	1,991	1,758	232
光電子	27	24	3
新材料	240	217	23
高機能品計	266	241	26
その他	43	48	▲5
合計	2,300	2,047	253

営業利益

単位：億円

	2023 年間予想	2022 年間実績	増減
	▲46.9	▲195.4	148.5
	28.8	24.5	4.3
	17.8	15.1	2.7
	▲0.3	▲155.8	155.5
	▲3.0	▲1.3	▲1.7
	48.0	53.8	▲5.8
	45.0	52.5	▲7.5
	16.1	18.7	▲2.5
	61.0	▲85.6	146.6

2023年度のセメント以外のセメント関連事業では、
鉱産品は、輸出石灰石の販売増加や値上げにより増収増益、
建材はコストアップに対応した値上げ効果による増収増益を
見込んでいます。

高機能品事業では、光電子・新材料とも増収も若干減益を見込んで
います。

1. 2022年決算・2023年度見通し

- (1) 国内セメント需要・当社販売数量
- (2) 2022年度 決算概要
- (3) 2023年度 決算見通し

2. 補足資料

2. 補足資料 2023年セグメント上下別見通し

売上高

営業利益

単位：億円

	2023 上期予想	2023 下期予想	2023 年間予想	2023 上期予想	2023 下期予想	2023 年間予想
セメント	756	852	1,609	▲70.3	23.4	▲46.9
鉱産品	75	73	148	14.0	14.8	28.8
建材	111	123	234	7.6	10.2	17.8
セメント関連計	942	1,049	1,991	▲48.7	48.4	▲0.3
光電子	10	16	27	▲2.0	▲1.0	▲3.0
新材料	117	123	240	22.2	25.9	48.0
高機能品計	128	139	266	20.2	24.9	45.0
その他	18	25	43	7.3	8.9	16.1
合計	1,088	1,212	2,300	▲21.0	82.0	61.0

2. 補足資料 2023年セメント営業利益上下別増減内訳

単位：億円

				22→23年度		
				上期予想	下期予想	年間予想
販売・生産数量				▲ 3	8	5
販売価格				78	112	190
石炭・石油価格				19	6	25
電力・原材料価格				▲ 22	▲ 4	▲ 26
リサイクル・合理化				0	0	0
為替				2	8	10
その他				▲ 30	▲ 26	▲ 56
セメント 営業利益増減				44	105	149
感 応 度	石炭	1\$/t 上昇	1.2億円/年 悪化			
	石油	1\$/bbl 上昇	0.6億円/年 悪化			
	為替	1円/\$ 円安	2.1億円/年 悪化			

2. 補足資料 資産負債の状況

単位：億円

	2022年3月末 実績	2023年3月末 実績	2024年3月末 予想
現金及び預金	131	145	145
有形固定資産	1,692	1,766	1,847
投資有価証券	594	478	477
その他の資産	893	1,177	998
資産計	3,311	3,566	3,466
有利子負債	566	997	904
その他の負債	713	722	698
負債計	1,279	1,720	1,601
純資産	2,032	1,846	1,865
負債・純資産計	3,311	3,566	3,466

2. 補足資料 キャッシュ・フローの状況

単位：億円

	2022年度 実績	2023年度 予想
税金等調整前当期純利益	▲ 31	64
減価償却費(含むのれん償却)	202	223
債権・債務増減、法人税他	▲ 332	178
営業キャッシュ・フロー	▲ 161	464
固定資産取得	▲ 279	▲ 336
資産等売却	86	17
その他	▲ 5	▲ 10
投資キャッシュ・フロー	▲ 198	▲ 329
フリーキャッシュ・フロー	▲ 360	135
有利子負債増減	431	▲ 94
自己株式取得(含む預託金支出)	▲ 15	0
配当金支払他	▲ 43	▲ 41
財務キャッシュ・フロー	373	▲ 135
現金及び現金同等物の増減	14	0

2. 補足資料 業績等の推移

単位：億円

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 予想
売上高	2,452	2,393	1,842	2,047	2,300
セメント関連	2,205	2,170	1,597	1,758	1,991
高機能品	185	172	184	241	266
その他	61	51	62	48	43
営業利益	161.3	166.3	68.8	▲ 85.6	61.0
経常利益	169.5	176.4	98.3	▲ 78.5	65.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	109.2	117.2	96.7	▲ 57.2	60.0
総資産	3,211	3,297	3,311	3,566	3,466
有利子負債	526	514	566	997	904
純資産	1,987	2,058	2,032	1,846	1,865

2. 補足資料 業績等の推移

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 予想
ROA (%)	5.2	5.4	3.0	▲ 2.3	1.9
ROE (%)	5.6	5.9	4.8	▲ 3.0	3.3
D/E (%)	26	25	28	54	48
FCF (億円)	135	139	22	▲ 360	135
設備投資 (億円)	202	215	207	297	304
減価償却費 (億円)	183	188	194	202	223
研究開発費 (億円)	31	32	31	31	34
金融収支 (億円)	10	10	20	13	4
期末従業員数 (人)	3,005	3,065	3,068	2,896	—

2. 補足資料 2023年度 単体決算見通し

売上高

単位：億円

	2023 上期予想	2023 下期予想	2023 年間予想
セメント関連	767	886	1,653
高機能品	125	136	261
その他	13	13	26
合 計	904	1,035	1,939

損益

営業利益	▲ 36.0	54.0	18.0
経常利益	▲ 23.0	55.0	32.0
当期純利益	▲ 20.0	60.0	40.0

将来に関する記述等についての注意事項

- ・本資料における将来の業績等は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものです。
- ・実際の業績等はさまざまなリスク要因や不確実な要素により、異なる可能性があります。

 住友大阪セメント株式会社